

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 29 [2017] 年度 第 3 回 議事録

日 時	平成 29 [2017] 年 9 月 7 日 (木) 14:55-17:00	場 所	地盤工学会
-----	--	-----	-------

出席者			資料 番号	配 付 資 料
部長*	仙頭 紀明	○	29.3.0	平成 29 年度 [2017 年度] 第 2 回基準部会議事録 (案)
理事*	堀越 研一	○	29.3.1	平成 30 (2018) 年度事業計画、予算
理事*	山中 稔	○	29.3.2	予算執行状況、書籍売上・在庫数
幹事	峯岸 邦夫	○	29.3.3	技能試験実施委員会 活動検証・再評価 WG (案) について、2017 年 7 月理事会議事録、「技能試験」の継続的实施に向けた課題と方策 (2012 年)
部員	浅田 素之	×	29.3.4	平成 29 年度地盤工学会賞 候補ご推薦のお願い (室長部長各位)
部員	伊貝 聡司	×	29.3.5	地盤環境スクリーニングに関する ISO に関する JIS 原案作成公募制度への応募
部員	海野 寿康	○	29.3.6	杭の鉛直載荷試験基準改訂検討 WG 設立趣意書
部員	大向 直樹	×	29.3.7	理事会議事録 (2017/6/16, 2017/7/28)
部員	小早川博亮	×	29.3.8	JSA 原案共同作成事業 (ジオシンセティックス用語) 契約書
部員	肴倉 宏史	○	29.3.9	JIS 規格素案、項目修正点 [WG1・4 件]・別冊
部員	佐藤 毅	×	29.3.10	JIS 規格素案、新旧対応表 [WG5・3 件]・別冊
部員*	武政 学	○	29.3.11	国交省打ち合わせメモ
部員*	中村 貴久	○	29.3.12	
部員	平井 貴雄	○	29.3.13	
部員	藤原 照幸	○	29.3.14	
部員	宗像 保男	○	29.3.15	
※	中川 直	×	29.3.16	
※ (英訳委員長)	竹下 祐二	○	29.3.17	
			29.3.18	
			29.3.19	
			29.3.20	
事務局	齋藤/長尾	○	2	回覧-2
				回覧-3

※オブザーバー

* : 本年度新任

○ : 出席

☆ : 出席 (電子会議)

◎ : 代理出席

× : 欠席

審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料-29.3.0, pp.1-7)
修正箇所等指摘なく、原案通りに承認された。
2. 全体関係
 - (1) 平成 30 (2018) 年度 事業計画、予算 (資料-29.3.1, pp.8-13)
仙頭基準部長より、資料に基づき事業計画 (案) および予算 (案) 作成に伴う配慮事項について説明があり、各委員会、WG においては 10 月第 1 週までに予算 (案) を作成の上、事務局へ提出することになった。総務部への一次予算 (案) 提出は、10 月 27 日とのことであった。
なお、これに先立ち 8 月 24 日に仙頭基準部長と小高総務部長が面談をして、すべての事業を対象に収益と必要性を再考し、存続か廃止を検討するようにとの指摘を受けたことが報告された。
p.11 の経常収入の部「4. (2)、2)、② 基準認証研究開発事業に関する受託事業収益」については、額面の決定が年度末なので見込みで記入してある旨、事務局より補足説明があった。
赤本の増刷部数は改訂にむけて在庫が残らないように慎重に検討する必要がある。
書籍「基準英訳シリーズ」については、販売促進の努力を行うことで、もう少し販売目標数を増やすことになった。
 - (2) 予算執行状況、書籍売上・在庫数 (資料-29.3.2, pp.14-15)
齊藤事務局員より、資料に基づき説明があり、p.14 の経常収入の部「4. (2)、2)、④ 広域における地盤工学特性の評価に関する…」については、H29 年度の予算が確定した後、受託が決まったので予算書では「0」が記入してあること、受託研究の管理経費については委託主の規定により決められているとことが補足説明され、確認の上、承認された。
【理事会報告】 (3) 技能試験の今後の方針について議論するための WG の設置 (資料-29.3.3, pp.16-26)
仙頭基準部長より、資料に基づき提案があり、原案通りに承認された。
なお、前回理事会において、基準部会で技能試験の在り方について検討するようにとの指摘を受けて、WG を設置するとの補足説明があった。
 - (4) 地盤工学会賞候補推薦 (資料-29.3.4, p.27)
仙頭基準部長より、資料に基づき説明があり、候補者がいる場合は基準部長に申し出るようになった。
 - (5) その他
特になし。
3. 委員等の異動【理事会報告*】*招請委員は理事会審議
 - (1) 室内試験規格・基準委員会
特になし。
 - (2) 地盤調査規格・基準委員会
【理事会報告】 (3) ISO 国内委員会
ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG [経産省受託] 招請委員の追加
上野 奈津子 氏 (堀場テクノサービス) ※8/5 メール審議完了済
 - (4) 地盤設計・施工基準検討委員会
特になし。
 - (5) 表記法検討委員会
特になし。
 - (6) 技能試験実施委員会
特になし。
 - (7) 基準英訳化に関する実行委員会
特になし。
 - (8) 部員の異動
特になし。
4. ISO 国内委員会 関係
 - (1) 地盤環境スクリーニングに関する ISO に関する JIS 原案作成公募制度への応募 (資料-29.3.5, pp.28-33)

仙頭基準部長より、資料に基づき説明がなされた。基本的には JIS として制定すべきではあるが、制定の必要性及び期待効果に関して、日本で適用する場合の課題（国内法（環境省（土対法））との関連、他の試験法との関連性）を整理した上で、再度審議すべきとの意見があったため、継続審議とすることとなった。

5. 地盤工学表記法委員会 関係
特になし。

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

(1) JIS 規格素案審議【理事会報告】*公示後、公示の報告

[WG 1]

(資料—29.3.9, pp.57-94)

- JIS A 1205 土の液性限界・塑性限界試験方法
- JIS A 1209 土の収縮定数試験方法
- JIS A 1223 土の細粒分含有率試験方法
- JIS A 1224 砂の最小密度・最大密度試験方法

[WG 5]

(資料—29.3.10, pp.95-137)

- JIS A 1210 突固めによる土の締固め試験方法
- JIS A 1211 CBR 試験方法
- JIS A 1228 締固めた土のコーン指数試験方法

仙頭基準部長より、資料に基づき説明があり、規格素案の承認と学会誌への公示が承認された。なお詳細について修正等がある場合は、9月15日までに基準部長に申し出ることになった。

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係
特になし。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

【理事会報告】(1) 杭の鉛直載荷試験基準改訂検討 WG の設立

(資料—29.3.6, pp.34-35)

平井部員より、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。なお、今後の委員構成として国交省や道路分野のメンバーを追加した方が良く、国際規格との整合性について検討することなどの意見が出た。

9. 技能試験実施委員会 関係

特になし。

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係

特になし。

11. 基準部所管刊行物

特になし。

12. その他

仙頭基準部長より、別添資料に基づき、学会中長期ビジョンについて説明があり、新ビジョンや2009年ビジョンの評価結果、検討内容等について意見や提案がある場合は、9月15日までに基準部長に申し出ることになった。

報告事項

1. 理事会 (2017/6/16, 2017/7/28) 開催報告

(資料—29.3.7, pp.36-48)

仙頭基準部長より、資料に基づき、基準部関連事項の報告がなされた。

なお、技能試験実施委員会の「優良事業所証明書」は再検討すべきとの意見があった。さらに、廃止や制度設計の見直しを含めて、まずは基準部が責任もって技能試験について議論すべきであるとの意見があった。

2. 全体関係

特になし。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

・2017年度予定

(相手先)	(金額)	
	助成	受託
・日本建設業連合会	50万円	-

・三菱総合研究所／経産省 (TC182 広域地盤モデル WG)	-	※457 万円
・三菱総合研究所／経産省 (TC190/SC3/WG10 運営 WG)	-	720 万円
小計	50 万円	1,177 万円
合計		1,227 万円

※防災科研と共同提案。防災科研分 約 538 万円、JGS 分 約 457 万円。

峯岸幹事より、上表に基づき報告がなされた。

② 国際会議派遣

特になし。

(2) 地盤工学表記法委員会

特になし。

(3) 室内試験規格・基準委員会

① JIS 規格改正に関する国交省打合せ

(資料—29.3.11, p. 56)

仙頭基準部長より、資料に基づき報告がなされた。

なお、委員の構成については国交省、経産省より指摘があったため、日建連等に委員の要請を行うことになり、堀越理事が窓口になるとのことであった。

② JSA 原案共同作成事業（ジオシンセティックス用語）契約

(資料—29.3.8, pp.49-55)

・原案共同作成委員会の運営に関する「手順書」→委員会

斎藤事務局員より、資料に基づき報告がなされた。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

特になし。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし。

(6) 技能試験実施委員会

特になし。

(7) 基準英訳化に関する実行委員会

①第 19 回国際地盤工学会での基準英訳書 (vol.2) のアジアの会員団体への寄贈 計 23 セット

・中国,中国 (台北),香港,韓国,インドネシア,マレーシア,シンガポール,南東アジア,タイ,ベトナム,バングラディッシュ,インド,ネパール,パキスタン,スリランカ,カザフスタン,キルギスタン,タジキスタン,ウズベキスタン,イラン,イラク,レバノン,シリア

竹下基準英訳化実行委員長より、Vol.3 を今年中に発行すべく作業を進めていること、寄付については依頼先リストの再整理や再依頼の準備を進めていること等の報告がなされた。

(8) ウェブページ

特になし。

(9) 電子化WG

藤原部員より、同委員会は 1 年以上開催されていなかったが、最近活動が再開し、各情報の電子化について検討を行うとの報告がなされた。基準の英訳を WG で販売することを想定した場合の課金システムは、実施に向けての課題が多く、すぐには実現できそうにないことが報告された。

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

特になし。

5. 審議中の基準

基準名	担当		承認					発行
	委員会	WG	部会	理事会報告	公示	理事会 [承認]	検討結果	
地下水面上の地盤を対象とした透水試験方法基準	調査	10	2015 11/5	2015 11/24	2016 2 月号		(HP)	
過酸化水素水による土及び岩石の酸性化可能性試験方法	室内	4			2015 11・12 月号	2016 3/15	2016 5 月号	済
水圧破砕法による初期地圧の測定方法	調査	3	2016 1/7	2016 1/26	2016 4 月号			
JIS 規格素案 (改正 7 件) 1202-1204,1216,1225,1226	室内	1	2017/7 /4	2017/7/2 8	2017 10 月号			赤本 2019 予定

- (1) 理事会（平成29年9月29日（金））への審議事項・報告事項
・審議 3.委員等の異動のほか、議事録（案）中に【理事会報告】と記されているもの。
- (2) 総務部会（平成29年10月10日（火）開催予定）への提案事項
特になし。
- (3) 次回以降の部会開催日
次回部会は、古関副会長が出席予定であるため、後刻日程調整をして通知することになった。
- ・平成29年度（2017年度）第3回：第1案 平成29年〔2017年〕11月日（ ）14:45～17:00
第2案 平成29年〔2017年〕11月日（ ）14:45～17:00～
- （対応理事会 or 書面）
- ★ 平成29年度 理事会 開催日程（予定含む）
- ① 4月21日（金） ※書面審議
② 5月19日（金）
★ 6月9日（金） 総会／理事会
③ 6月16日（金） ※書面審議
④ 7月28日（金）
⑤ 9月29日（金）
⑥ 10月27日（金） ※書面審議
⑦ 11月24日（金）
⑧ 12月22日（金） ※書面審議
⑨ 1月26日（金）
⑩ 2月23日（金） ※書面審議
⑪ 3月16日（金）
-
- ⑫ 4月20日（金） ※書面審議
⑬ 5月18日（金）
★ 6月6日（水） 総会/理事会